

今こそ社会教育の出番です！



秋田県教育庁生涯学習課長
沢屋 隆 世

政府の地方創生のうねりの中で、地域の活性化や絆づくりが叫ばれています。

さて、平成2年に「生涯学習振興法」が制定されると、「いつでも、どこでも、誰でも」というキャッチフレーズのもと、社会教育行政は生涯学習推進の流れに乗って生涯学習を前面に打ち出していく社会教育の姿がありました。しかし、その動きの中で、「社会教育＝生涯学習」という概念の混乱が生じてしまったのです。つまり、個人の要望に基づく学習を支援していくのが社会教育行政の役割だという誤解です。

やがて、バブル崩壊や平成の大合併を経ていく中で、財政的に追い込まれていく状況が国や地方に広がってきました。一方では、民間における生涯学習の機会が増大してきました。そのような状況の中で、個人の要望に基づく生涯学習を行政がどこまで担うかという理由から社会教育行政の予算が削減され、さらに体制も縮減に追い込まれてしまったのです。

ところが、平成18年、教育基本法改正が行われ、その中で生涯学習の理念が明確化され、学校・家庭・地域相互の連携・協力の重要性がうたわれました。この改正を受けて、平成20年6月には社会教育法、図書館法、博物館法が改正されました。

この一連の流れの中で、生涯学習や社会教育の概念が整理され、社会教育行政の役割を「個人の要望から社会の要請へシフトしていくこと」や、「学習成果の活用による社会全体の教育力の向上」、「学校・家庭・地域の連携協力関係の構築」、「学校への支援」、「家庭教育への支援」という新たな社会教育行政の任務が明確に打ち出されました。

その背景には、人々の価値観の多様化や都市部への集中、核家族化などにより、地域の教育力や地域のつながり、その構成単位である家庭の教育力の低下など、本来地域がもっているべき地域力の低下・衰退や市町村合併による地域としてのまとまりの希薄化があると思います。

昨今、社会教育に求められるものが非常に大きくなっています。市町村においては、これまで、公民館等を中心に地域の教育力の向上や地域課題の解決による地域づくりの中核を担い、力を発揮してきた社会教育のノウハウやスキル、マインドを地域力の再生に生かしていくことが必要であり、求められているのです。今こそ社会教育の出番なのです。県教育委員会でも、地域の明日を担う子どもを核にして、地域がまとまり、かつてあったようなつながりを再生していくことを目指して、様々な事業を展開しています。そのため、ふるさと教育の一層の推進、学校支援地域本部事業や放課後子ども教室推進事業などの実施を通して、「地域が一体となった子どもを育てる環境づくり」を進めています。

生涯学習課は、社会教育行政に課せられた役割を果たすべく、「地域力」の醸成、ひいては「地域の教育力」の向上に向けて、教育事務所、生涯学習センター、図書館、博物館、美術館や少年自然の家など、各教育機関や市町村の社会教育関係者の皆様とともに、オール秋田・チーム秋田で取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

近代美術館

特別展 岩合光昭写真展 **ネコライオン**

4月25日(土)～7月5日(日) ※会期中無休



上:広島県庄原市 ©Mitsuaki Iwago
下:タンザニア・ンゴロンゴロ自然保護区 ©Mitsuaki Iwago

「ネコは小さなライオンだ。ライオンは大きなネコだ。」

世界を舞台に活躍する動物写真家・岩合光昭氏が捉えた人間と共生するネコ、野生に生きるライオンを対比して展観します。似ているようで似ていない。そして似ていないようで似ている。「ネコライオン」の摩訶不思議な世界を、ぜひご体感ください。

関連イベント

- ◆スペシャルギャラリートーク 6/6(土)
(ゲスト:秋田市大森山動物園 小松 守 園長)
- ◆ミュージアムコンサート 5/10(日)
(出演:トリオ・ドルチェ) ※参観無料
- ◆ワークショップ
「大画面に描こう!」 5/3(日)
「フェルト毛玉マスコットを作ろう!」 5/17(日)

お得な各種当日券割引もあります(詳細はHPをご覧ください)

●ネコライオン割 ●ふるさと村割 ●ミルヴェ割 ※各種割引の併用はできません

[問合せ先] 秋田県立近代美術館 TEL 0182-33-8855

県立博物館

企画展 石斧のある世界

4月25日(土)～6月21日(日) 休館日:月曜日 ※休日と重なったときはその次の平日

秋田県東成瀬村で、昭和40年(1965)に日本一大きな縄文時代の磨製石斧が4本発見されました(最大のもので長さ60cm)。こうした大型磨製石斧は、北海道から北東北地方を中心に分布しています。なぜ、この地の縄文人は巨大な磨製石斧を作ったのでしょうか。そもそも人類にとって、「石斧」とは何だったのでしょうか。

本企画展では、旧石器時代から縄文時代にかけて、人々が大自然の中で文化を築く際に果たした石斧の役割を、様々な側面から見ていながら、大型磨製石斧の意味について考えます。



東成瀬村で出土した大型磨製石斧

- 第1章 フロントティアたちの石斧
- 第2章 新たな時代を切り拓いた石斧
- 第3章 石斧をつくる
- 第4章 石斧をつかう
- 第5章 祈りと象徴～儀礼のなかの石斧～
- 第6章 巨大石斧の世界
- 第7章 生きている石斧、消えつつある石斧

関連イベント

- 5/3(日) 体験イベント
「ミニチュア石斧をつくろう」
- 4/25(土)、5/6(水)・24(日)、
6/14(日)・21(日)「ギャラリートーク」

本県初公開資料を多数展示!

遺跡探訪バスツアー、スタンプラリーなど、イベントも盛りだくさん。ぜひ、石斧ワンダーランドへお越しください!

[問合せ先] 秋田県立博物館 TEL 018-873-4121